

第5学年 外国語活動指導案

指導者 学級担任 河元 智志

A L T マッシュー・サーバス

活動場所 2階外国語活動室

1 単元名 「数で遊ぼう」

2 単元の目標

- ・日本と外国の数の数え方や遊びの違いに興味関心を持って指導者の話を聞く。(言語と文化)
- ・1～20までの数を聞いたり言ったりして、積極的にゲームに参加する。(コミュニケーション)
- ・友達に積極的に数を尋ねたり答えたりする。(コミュニケーション)
- ・数を数えたり、聞いたりする活動を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。(表現)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元では、これからの活動の中で繰り返し使われる「数」のうち、入門期として1～20の数をとり上げる。数の取り上げ方としては、ただ単に数を数えるのではなく、歌や今まで体験したことのあるようなゲームを通して、その中で必然的に出てきた数に触れながら、少しずつ使える範囲を広げていく。

(2) 児童観

男子13名、女子4名と特別支援学級の児童1名のクラスである。陽気で明るい児童が多く休み時間などは、体育館や校庭で元気に遊んでいる。

頭の中に考えをもっている、それを言葉で表して表現することを苦手とする児童が多く、発言も一部の児童に限られている。また、長文問題となると問題を読むことを嫌う傾向もあり、習ったことがしっかりと定着するまでにかなりの時間を要するという課題もある。現在は、自分の考えを発表したことや、最後まで読んだり、作業を成し遂げたりしたことを褒めながら、児童の意欲を喚起し学習活動を進めている。

外国語活動に関しては、多くの児童は楽しみながら活動しているようである。体験的な遊びや、外国語を使つてのゲームをすることが大好きで時間を忘れて夢中になってしまうこともある。しかし、交流を主体とする活動(アクティビティ)では、恥ずかしさから、自分の思いを相手に伝えたり相手の思いを受け取ったりする積極的な姿勢が見られないことが課題である。

授業の終末に書いている「ふりかえりカード」を分析すると、ほとんどの児童が「楽しい」と答えており外国語活動を楽しみにしている児童が多いことがわかる。

(3) 指導観

本校では数年前より、A L T主導で総合的な学習の時間に英語活動を実践してきた。英語活動テキストも購入し、話したり聞いたりする活動を中心に学習活動を展開してきた。学習指導要領の改訂にともない今年度は英語ノートを使いながら、担任主導の外国語活動の実践をめざしている。以前と同様にA L Tも活動に加わり学習活動を展開しているので児童に違和感はないようである。児童が楽しいと感じる気持ちを持続させながら、外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができるよう指導していきたい。

(4) 研究と関わって

外国語活動の目標は「言語や文化について体験的に理解を深める」「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ」3つの柱か

ら成り立っている。本校では上記の3つの柱を支える言語活動の基盤を「コミュニケーション能力の素地を養うこと」ととらえている。そこで、児童の日々の学習・生活の主体となっている母国語を学ぶ国語科の授業づくりに加え、研究主題「進んで自分の思いや考えを伝え合う児童の育成～外国語活動と国語科の授業づくりを通して～」と題して研究を進めていくこととした。

外国語活動や国語科の本時のねらいに合わせ、活動の種類や形態を意識して授業づくりを行っていききたい。活動の種類とはスピーチ、説明、クイズ、歌、ショウ・アンド・テルなどを表し、形態とは、誰に対して行う活動か、個人で行うのか、全体で行うのか、グループで行うのか、ペアで行うのかなどを表すこととする。児童観でも述べたが、本校の児童は大勢の人の前や公の場で表現することを苦手とする児童が多いので、児童の心理的な負担の軽減をねらって「全体→グループ（ペア）→個人→全体」という形態をとりながら、進んで自分の思いや考えを伝え合う児童の育成を図っていききたい。

英語ノートの活用方法についてはまだ研究段階であるが、本時では1～10の言い方はそれぞれ何語かを予想する活動で、児童一人一人の意識化を図るために書く活動を取り入れる。他の活動は、附属デジタル教材をプロジェクターで投影し映像と音声を中心にして展開していく。

4 指導計画・評価規準（4時間）

第1時（本時）	第2時	第3時	第4時
	Let's Play いろいろな言葉で「じゃんけん」をしてみよう		
Let's Listen どこの国の数の言い方かを考えよう。	Let's Sing ♪Ten Steps♪ ♪Twenty Steps♪		
Let's Sing ♪Ten Steps♪	Let's Listen 線つなぎ	Let's Play 1 キー・ナンバー・ゲーム	Let's Play 1 スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム
Let's Play キー・ナンバー・ゲーム	Let's Play 1 Buzz ゲーム	Let's Play 2 スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム	Activity 同じ画数の友達をさがそう

評価の観点	主な評価規準
外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。	・日本と外国の数の数え方や遊びの違いに興味関心を持って指導者の話を聞いている。〔行動観察・発言〕
外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。	・1～20までの数を聞いたり言ったりして、積極的にゲームに参加している。〔行動観察・英語ノートの点検〕 ・友達に積極的に数を尋ねたり答えたりしている。〔行動観察・英語ノートの点検〕
外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。	・数を数えたり、聞いたりする活動を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しもうとしている。〔行動観察〕

- 5 本時の活動（第 1 時）積極的に数を使ったゲームをしようとする。
- （1）本時のねらい 1 ～ 2 0 までの数を聞いたり言ったりして，積極的にゲームに参加する。
- （2）本時の評価規準 2 0 までの数を聞いたり言ったりして，積極的にゲームに参加している。〔行動観察・英語ノートの点検〕
- （3）準備 1 ～ 2 0 までのカード，プロジェクター，英語ノートデジタル教材
- （4）展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	A L T の活動	指導上の留意点（・） と評価の観点（○）と 評価方法〔 〕	準備物等
あいさつ 5 分	Let’s Sing “Hello Song” を歌う。 Greeting 指導者とあいさつをする。 I’m fine.thank you, and you? It’s ~. It’s ~.	児童とあいさつをする。 Let’s start English class.	児童とあいさつをする。 Good afternoon.. How are you? How’s the weather? What day is today?	元気よく歌うよう励ます。	C D 1 1
復習 1 0 分	Let’s Listen. C D を聞いて，何語かを推測する。 再度 C D を聞き英語ノート P. 1 7 の四角に番号を書き込む。 Let’s sing “Ten Steps” を歌う。	C D を聞かせ，1 ～ 1 0 の言い方はそれぞれ何語か予想させる。 国によって数の数え方が違うことを紹介する。 二人でデモンストレーションをしてゆっくり歌う。 振り付けを加え，数回歌うよう指示する。		隣の人と相談して考えるよう促す。	C D 1 6 C D 1 7 英語ノート 1 ～ 10 までのカード
展開 2 0 分	Let’s Listen. 1 ～ 2 0 までの数の数え方を知る。 Let’s Play. キー・ワード・ゲームをする。	黒板に 1 1 から順に 2 0 までのカードを貼り，言い方を確認する。 実際にデモンストレーションをしながらキー・ワード・ゲームの説明をする。 2 人組（ペア）を作るよう指示する。	Repeat after me. Eleven (Eleven) Twelve(Twelve) Thirteen(Thirteen)・・・	黒板に 1 1 ～ 2 0 までのカードを付け足して貼る。 机を後ろに下げて活動スペースをつくる。 ○ 2 0 までの数を聞いたり言ったりして，積極的にゲームに参加している。〔行動観察・英語ノート点検〕	11 ～ 20 までのカード
ふりかえり 5 分	ふりかえりカードを書く。	児童の英語を使って数を数えようとしていた態度面をほめる。	児童の英語についてよかったところを言う。	次時の意欲につながるように，具体的に児童のよかった点を評価する。	ふりかえりカード
あいさつ 5 分	あいさつをする。 Good-bye. See you.	あいさつをする。 Good-bye. See you.	あいさつをする。 Good-bye. See you.		